

西新宿スマートシティプロジェクト

～「つながる街」西新宿を目指して～

令和3年度 第2回協議会

2021年10月29日
(13：00～14：00)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------|
| 1. 開会の挨拶（宮坂副知事） | 《挨拶3分、説明2分－累計5分》 |
| 2. 協議会参加者紹介 | 《説明1分－累計6分》 |
| 3. 協議会の進め方・スケジュールの確認、
新規プロジェクトの承認 | 《説明4分－累計10分》 |
| 4. 【仮説検証PT】
課題調査状況の報告 | 《説明6分－累計16分》 |
| 5. 【課題解決PT・都市OS検討PT】
各テーマ進捗状況の報告 | 《説明22分＋質疑15分－累計53分》 |
| 6. 【広報・巻き込みTF】
各企画・取組の実施状況の報告 | 《説明5分－累計58分》 |
| 7. 質疑応答・閉会の挨拶 | 《挨拶2分－累計60分》 |

1. 開会の挨拶

議事次第

目的

- 西新宿スマートシティ協議会における各取組の進捗状況を確認すること
- 新規プロジェクトを確認し、承認いただくこと
- 今後の取り組みスケジュールを確認すること

議事次第

1. 開会の挨拶（宮坂副知事）《挨拶3分、説明2分－累計5分》
2. 協議会参加者紹介《説明1分－累計6分》
3. 協議会の進め方・スケジュールの確認、
新規プロジェクトの承認《説明4分－累計10分》
4. 【仮説検証PT】
課題調査状況の報告《説明6分－累計16分》
5. 【課題解決PT・都市OS検討PT】
各テーマ進捗状況の報告《説明22分＋質疑15分－累計53分》
6. 【広報・巻き込みTF】
各企画・取組の実施状況の報告《説明5分－累計58分》
7. 質疑応答・閉会の挨拶《挨拶2分－累計60分》

2. 協議会参加者紹介

3. 協議会の進め方・スケジュールの確認、 新規プロジェクトの承認

西新宿スマートシティ協議会の概要：背景

スマート東京先行実施エリアとして西新宿のスマートシティ化を推進

世界をリードする東京実現に向けたビジョン

デジタルの力で東京のポテンシャルを引き出し、都民が質の高い生活を送る「スマート東京」（東京版Society5.0）

「電波の道」で、いつでも、誰でも、
どこでも「つながる東京」を実現する

データ共有と活用の仕組みをつくり、
行政サービスの質を向上させる

行政のデジタルトランスフォーメーションを強力に進める

セーフシティ



ダイバーシティ

スマートシティ

※QOL：Quality of Life（生活の質）

「スマート東京」先行実施エリア（5Gと先端技術を活用した分野横断的なサービスの都市実装）

西新宿※



都心部



ベイエリア



南大沢（東京都立大学）※



島しょ地域



※TOKYO Data Highway重点整備エリア

出所：「未来の東京」戦略

西新宿スマートシティ協議会の概要：目的・運営方針

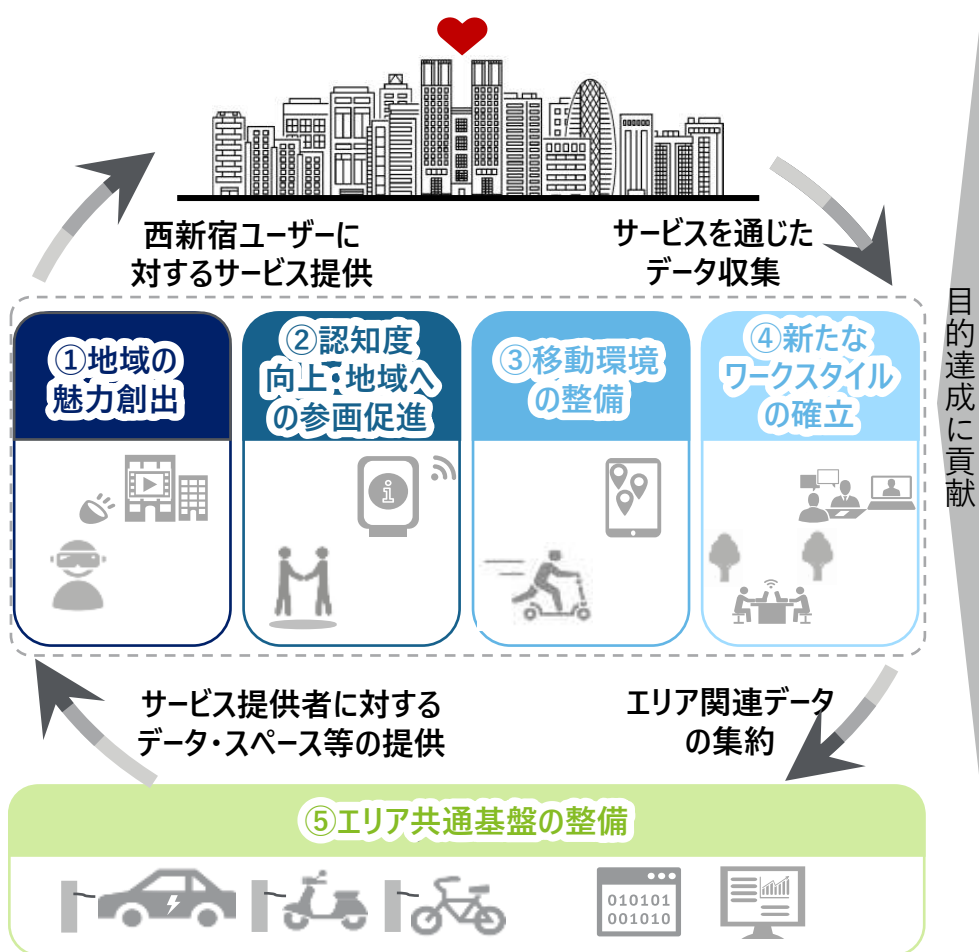
協議会の組織としての将来像、使命、価値観を設定し、目的達成に貢献

協議会が西新宿エリアで実施する取組

協議会の運営方針

協議会の
目的

デジタル技術を活用することで人と人、人と都市をつなげ、西新宿に関わる人のQOL向上に貢献



VISION

西新宿スマートシティ協議会の
(組織としての) 将来像 (状態)

目指す姿の実現に向けた課題解決に資する、
“デジタル技術を活用したアイデア・サービス
が継続的に創出されるモデル”を確立していること
※目指す姿や課題は常にアップデートする

公共性を有し、未来への投資ができる行政
が主体的に関与するプロジェクトとしての特徴

MISSION

西新宿スマートシティ協議会が果たすべき使命

エリアのQOL向上のため
誰もが失敗を恐れずスピード感を持って挑戦できる
環境を作り上げること
※価値ある失敗を生むことも重要 (アジャイル思考)

VALUE

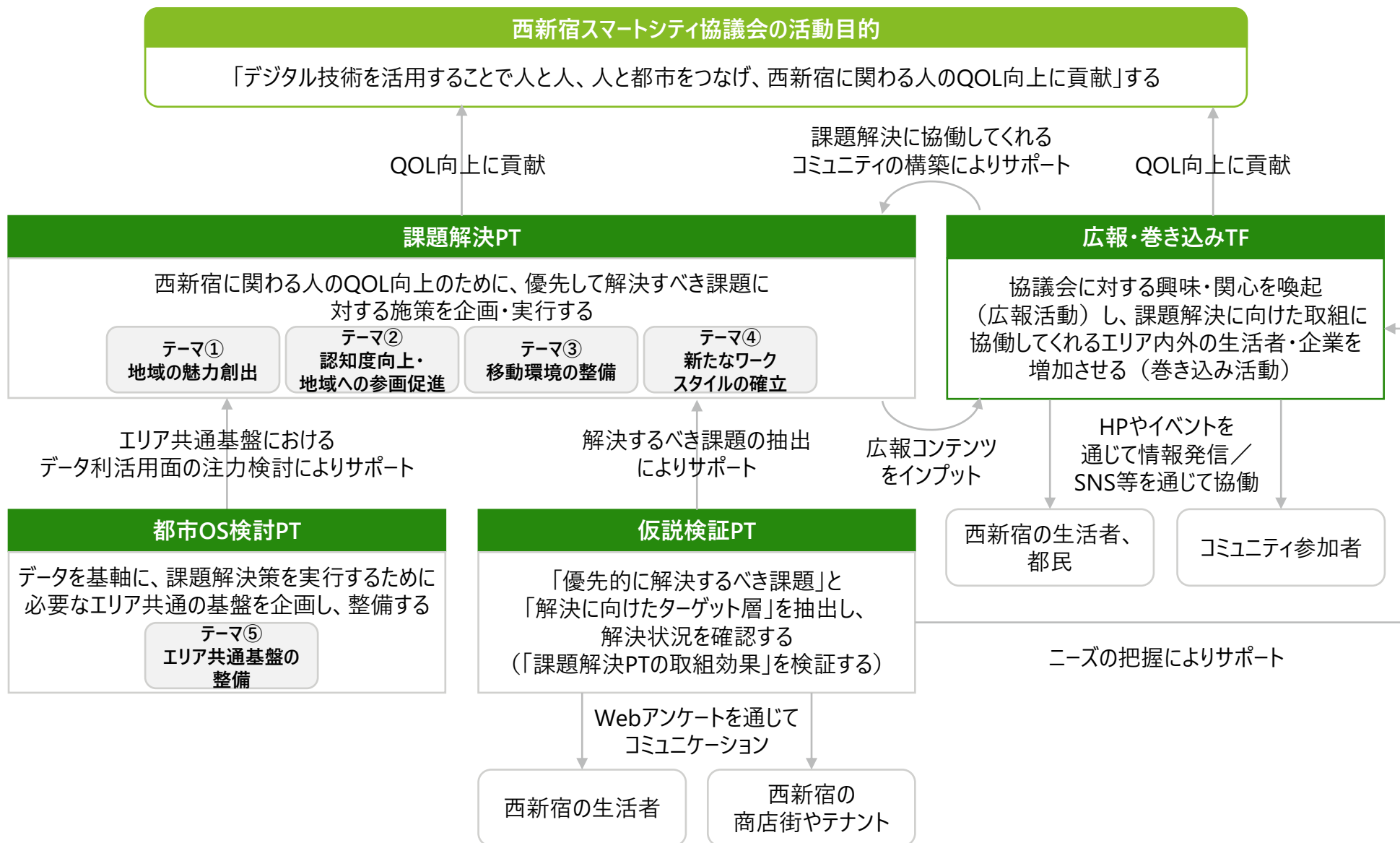
使命を果たす上で、西新宿スマートシティ協議会が
大事にする価値観

エリア内外の官民多業種の組織・団体や、
多様な個人が有機的に繋がり、互いの強みを
活かしあうこと

多様な民間が連携するエリアとしての特徴

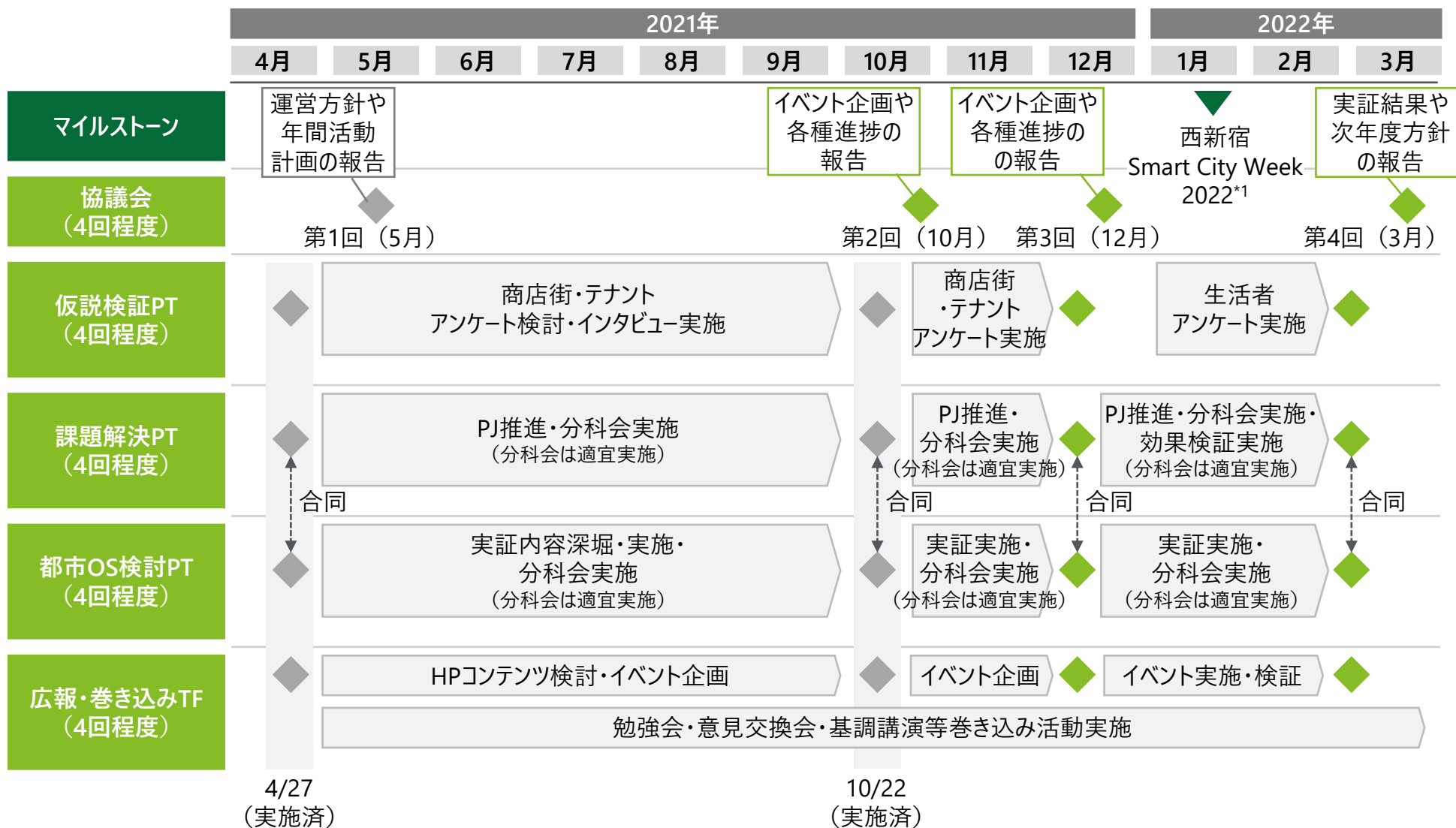
協議会における各PT/TFの位置づけ

協議会の目的達成に向け、課題解決策の推進や広報活動を通じた機運醸成を図る



R3年度会議体実施スケジュール全体像

2022年1月のイベントをマイルストーンとし、各PT/TFの活動を推進する



*1： COVID-19の状況を鑑みて開催時期を11月から変更。合わせてその他スケジュールも変更

新規プロジェクトの承認

新規の中長期プロジェクト募集を行い、事務局にて2件のプロジェクト候補を選定

対象とする課題解決テーマ概要		プロジェクトリーダー	プロジェクト名	プロジェクト概要
②認知度向上・地域への参画促進 西新宿の課題 - 友人や知人との交流機会の提供 - 友人知人からの口コミを促すコミュニティの形成 - 西新宿エリア全体での統一的な情報の発信 - 他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージ確立 2～3年後に実現される状態 個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人と人」「人と都市」がつながれる状態	新規プロジェクト候補①	株式会社 ジョルテ Jorte	スマートシティ カレンダー	西新宿における情報をカレンダーアプリ上に集約することで、生活者/観光客が欲しい情報を効率的に届ける
	新規プロジェクト候補②	角川アスキー 総合研究所 角川アスキー総合研究所 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc.	西新宿 LOVE Walker プロジェクト	- 西新宿Love Walker（Webメディア）によって西新宿の統一的な情報発信をする - 地域の人々が記事を作成することでユーザー参画型のメディア（User Generated Media）を目指す

西新宿エリアの課題解決に向け、2件のプロジェクトが新たに参加することをご承認頂きたい

【テーマ②：認知度向上・地域への参画促進】

スマートシティカレンダー（株式会社ジョルテ）

テーマ
②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題
西新宿エリア全体での統一的な情報の発信

2-3年後に目指す姿
■ いろんなサイトやアプリで情報を探すのではなく、生活の中にあるカレンダーで欲しい情報が自然と見つけれられる。 ■ 各店舗が、効率的に情報を必要な人に届けられる。来訪者のめにつきづらい店舗でも、効率的に集客できる。 ■ 商店街、店舗、住民、来訪者がカレンダーベースで統一的に情報を共有でき、西新宿に来るとその時に何ができるのかが直感的に分かる。

プロジェクト参加者・役割
■ 株式会社ジョルテ（プロジェクトリーダー） スマートシティカレンダーの企画、開発、推進、地域での実証 ■ ソニーマーケティング株式会社 テレビ環境での利活用に伴うプランニング、実証実験サポート ※ 事業拡大に応じて、他企業を巻き込む

施策概要
■ 商店街や地域コミュニティの情報、観光客向けの情報など、統一的にカレンダーで集約し情報を届ける仕組みを提供する。 ■ 西新宿エリアで行われる各種イベント情報を収集する。主要イベントだけでなく、店舗等での小さなイベント、トピック、開店時間や混在状況など、西新宿における情報収集スキームの構築に向けた取り組みを行う。 ■ カレンダーアプリだけでなく、スマホWEBや他アプリへの情報提供・連携も実施。さらに、人が集まる場所に大型テレビを設置してカレンダーを表示し、西新宿で今できることを直感的に伝えられるようにする。

3か年計画	
1年目	■ 西新宿エリアでの情報収集スキームの構築とカレンダー型情報発信の仕組みを提供
2年目	■ 西新宿エリア全体で情報が統一的に発信でき、エリア内での効率的な集客や、人の回遊を実現
3年目	■ 西新宿エリアの以外にも拡大させ、エリアをまたいだ統一的な情報発信、共有プラットフォームにし、エリア間の人の回遊を実現

想定KPI
■ 継続的な利用が見込まれるコミュニティや施設 3箇所 ■ 実証実験によるユーザ調査で、継続的な利用意思ユーザの割合30%

【テーマ②：認知度向上・地域への参画促進】

西新宿LOVE Walkerプロジェクト（角川アスキー総合研究所）

テーマ
②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題
・西新宿エリア全体での統一的な情報の発信 ・友人知人からの口コミを促すコミュニティの形成 ・他エリアと比して特徴的なまちのブランドイメージの確立

2-3年後に目指す姿
■ 西新宿の住民や西新宿で働くワーカー、通学する学生に西新宿LOVEWalkerという媒体が広く認知し、西新宿の情報の拠り所となっている。 ■ 西新宿LOVEWalkerへの情報提供に多くの企業、団体が関与し、このメディアを通じてコミュニティやイベントが発生している状態。

プロジェクト参加者・役割
■ 株式会社角川アスキー総合研究所（プロジェクトリード） ■ 小田急電鉄株式会社（プロジェクト連携・推進・コンテンツ提供） 他多数の西新宿関連企業、団体を事業拡大に応じて巻き込み

施策概要
■ 西新宿LOVEWalkerというWEBメディアを立ち上げ、Twitterの公式アカウントを開設、西新宿の地元愛を訴求し、この地域を活性化する。 ■ 地域の方々と一緒に作るUGM（User Generated Media）を目指し、この地域の多くの方々からの連載記事を展開。 ■ 西新宿LOVEWalkerを通して、スマートシティやスタートアップの取り組みを発信し、デジタルを通したまちづくりのブランドイメージを醸成。

3か年計画	
1年目	■ 取材活動を通じて、地域関連企業や団体への認知・記事提供者（社）数の拡大
2年目	■ TwitterなどのSNSを活用した一般ユーザーの認知拡大
3年目	■ 西新宿LOVEWalkerを起点とした地域の方々と企業・団体が連携したコミュニティの形成やイベントの実施

想定KPI
■ 地域関連企業・団体発信の連載記事（20以上） ■ 西新宿LOVEWalkerを起点としたコミュニティやイベントの実施（3以上）

R3年度以降の協議会メンバーの種別及び参加までの流れ

参加プロセスを通じて、オブザーバーが新たに協議会に参加することをご承認頂きたい

	種別		オブザーバー参加までの流れ			
	構成員	オブザーバー	プロセス	時期・頻度	主体者	アクション
参画基準	西新宿スマートシティ協議会の設置要綱に定められた構成員であること	- 協議会の目的を理解し、目的達成に向けた取組を行うものであること - 課題解決PJのリーダー/参加者であること - 構成員の承認を得られていること	入会申請	■ 適宜	■ PJリーダー	■ 事務局に対してPJ参加者の入会を申請
			案内	■ 適宜	■ 事務局	■ 事務局からSlackと合わせて案内
			事前確認	■ 四半期に1回以上	■ PTメンバー	■ 事務局で確認後、課題解決PTで事務局が報告
			承認	■ 四半期に1回	■ 協議会構成員	■ 協議会で事務局が構成員に共有し、協議会構成員全員の合意を得て承認
関与方法	- 協議会に参加 - 各種PT/TFに必要な応じて参加 - PJリーダー/参加者として必要に応じてPJに参加	- 協議会にオブザーバー参加 - 課題解決・都市OS検討PTに参加 - PJリーダー/参加者として課題解決PJに参加	退会申請	■ 適宜	■ PJリーダー	■ 事務局に対してPJ参加者の退会を申請
			退会	■ 四半期に1回以上	■ 協議会構成員	■ 事務局内で確認後、協議会に報告 ※ PJ終了時は退会し、協議会に報告
協議会での役割	- 協議会の意思決定に関与する - 西新宿スマートシティプロジェクトの検討・推進全般に関する意見を述べる	専門的な知見や技術等に関する意見を述べる	オブザーバーが新たに協議会に参加することをご承認頂きたい			

4.【仮説検証PT】 課題調査状況の報告

仮説検証PTの実施方針案

本日は、商店街・テナントの課題調査状況とWell-Being指標の活用検討結果を報告

ミッション	■ 課題の解決状況（＝ニーズの充足状況）を最新化し、優先的に解決すべき課題を明らかにすること ■ 課題解決に向けた課題ごとのターゲット層を確認すること ■ 課題解決の取組による効果を検証すること							
参加者	■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 ■ フェロー							
実施事項	■ 課題把握アンケート ➢ アンケート①：生活者の課題調査（R2年度から継続） ➢ アンケート②：コミュニティへの参加ニーズ調査（新規） ➢ アンケート③：商店街・テナントの課題調査（新規） ■ 効果検証アンケート ➢ アンケート④：取組全体・取組毎の効果検証（R2年度から継続）							
スケジュール・主なアジェンダ	4月	協議会 (第1回)	10月	協議会 (第2回)	12月	協議会 (第3回)	2月	協議会 (第4回)
	■ 課題解決テーマ別の課題詳細分析結果共有 ■ 課題調査方針の共有 ■ 年間スケジュールの共有		■ 商店街・テナントの課題調査設計及び調査状況の報告（アンケート③） ■ Well-Being指標の活用検討結果の共有		■ 商店街・テナントの課題調査結果の共有*1（アンケート③） ■ 生活者の課題調査設計の共有（アンケート①・②）		■ 生活者の課題調査結果の共有（アンケート①・②） ■ 取組全体・取組毎の効果検証結果の共有（アンケート④）	

本日で報告

*1：実施時期はCOVID-19の状況を鑑みて検討

商店街・テナントの課題調査

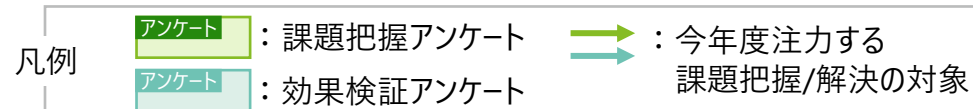
R3年度の課題把握アンケート実施方針（1/2）

西新宿における居住者・通勤者・来街者や商店街・テナントを対象にアンケート調査を実施

	課題把握アンケート			効果検証アンケート
	アンケート① 西新宿における 課題の把握	アンケート② 西新宿における コミュニティ参加ニーズの把握	アンケート③ 西新宿の商店街・テナント における課題の把握	アンケート④ 取組全体・取組毎の 効果検証
目的	■ 西新宿における重要課題の更新を行うこと ■ エリア満足度の状況を確認し、その要因を把握すること	■ 西新宿の生活者がコミュニティメンバーに移行するうえで有効な巻き込み策を把握すること	■ 西新宿の企業・団体目線で解決すべき課題を把握すること	■ 課題解決に向けて実施した取組の効果を検証すること ■ 実施すべき取組のブラッシュアップにつなげる（主に来年度以降）
対象者	■ 西新宿の生活者（居住者・通勤者・来街者）		■ 西新宿の商店街・テナント等	■ コミュニティメンバー
調査内容	■ 西新宿に対する満足度 ■ 西新宿における課題 ■ エリアのイメージ	■ コミュニティへの参加ニーズ（コミュニティに求める取組）	■ 西新宿における事業活動上のニーズ・課題	■ 取組に対する満足度 ■ 取組に対するニーズ
調査方法	■ Webアンケート調査を実施	■ Webアンケート調査を実施 ※居住者・通勤者・来街者向けのアンケートと共同で実施	■ インタビュー調査を実施した後にアンケート調査を実施	■ LINEアンケートを実施
時期（予定）	■ 2022年2月	■ 2022年2月	■ 2021年11～12月	■ 2022年2月

R3年度の課題把握アンケート実施方針（2/2）

エリアのQOL向上を目指し、西新宿の生活者に加え、商店街・テナントの課題把握を実施



アンケート①（継続）

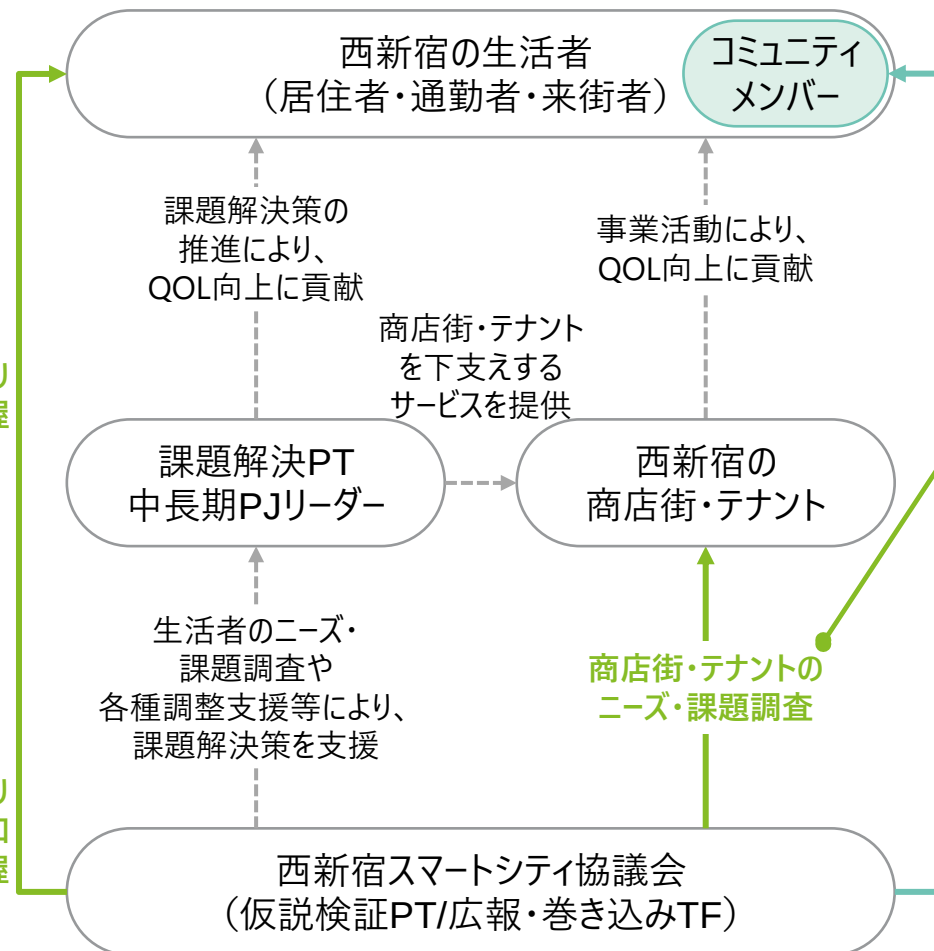
- 課題・満足度を把握する
- R2年度のアンケートは西新宿エリアに対する満足度の増減要因を把握することは難しい設計となっていたため、設計を変更する
- 2022年2月頃実施予定

● Webアンケートにより
課題等を把握

アンケート②（新規）

- 広報・巻き込みTFにおいてコミュニティを拡大するためのニーズを把握することで、効果的な広報・巻き込み活動へとつなげる
- 2022年2月頃実施予定

● Webアンケートにより
コミュニティ参加
ニーズ等を把握



本日は報告

アンケート③（新規）

- 生活者に対してサービスを提供しており、エリア生活者のQOL向上の担い手である商店街・テナントに対する支援を考えることも必要
- 商店街・テナントが有するニーズや課題を把握し、協議会として支援に取り組むことでエリアのQOL向上に貢献する
- 2021年11~12月頃実施予定

LINEアンケートにより、
課題解決施策の効果を把握

アンケート④（継続）

- 課題解決に向けて実施した取組の効果を検証する
- 実施すべき取組のブラッシュアップにつなげる（主に来年度以降）
- 2022年2月頃実施予定

アンケート③：商店街・テナントの課題調査アプローチ

商店街・テナントへのインタビュー内容を踏まえた課題仮説をもとに、アンケートを実施予定

	課題仮説立案		課題仮説検証
	素案作成	ブラッシュアップ	
目的	■ <u>商店街・テナントが抱える課題仮説を作成</u>	■ 商店街・テナントが抱える課題を把握し、<u>課題仮説をブラッシュアップ</u>	■ <u>課題仮説を定量的に評価し、優先課題を導出</u>
調査方法	■ デスクトップ	■ インタビュー	■ アンケート
調査対象	■ 公開資料 ➢ 自治体等のまちづくり計画、ガイドライン 等	■ 商店街 ➢ 理事長、商店の代表者 等 ■ テナント ➢ ビルオーナー ➢ ビルテナントの代表者	■ 商店街 ■ テナント ※実施先については詳細調整中
アウトプット	 商店街・テナントの課題仮説素案	 商店街・テナントの課題仮説	 商店街・テナントの優先課題

本日も報告

【課題仮説立案】 商店街・テナントの課題仮説素案（デスクトップ）

公開資料より事業活動とインフラに関する商店街・テナントが抱える課題仮説素案を作成

新宿における
まちづくりの課題把握

新宿駅周辺地域
まちづくりガイドライン
(新宿区都市計画部)

新宿区産業振興プラン
(新宿区文化観光産業部)

西新宿地区
まちづくり指針
(西新宿懇談会)

都市再生
緊急整備地域方針
(東京都都市整備局)

商店街・テナントに関する課題を抽出

商店街・テナントにおける課題仮説素案の作成

- 1 必要人材と求職者のミスマッチ、応募が少ないなど採用活動が困難である
- 2 事業の推進・展開に必要な資金調達のハードルが高い
- 3 事業承継のための後継者が不足している
- 4 エリア内の顧客ニーズ・市場動向を把握するための情報収集が困難である
- 5 効果的な広告・宣伝活動のための媒体や利用機会が少ない
- 6 特定産業・テーマにおけるブランディングが希薄で、エリアとしての集客力が弱い
- 7 回遊性が低く、商店街・テナント等に立ち寄りづらい
- 8 バリアフリー環境が限定的であり、高齢者・車椅子利用者等が買い物をしづらい
- 9 コロナ禍の配達サービスなど販売促進に向けた地域内・産学の連携機会が少ない
- 10 コロナ対策・データ利活用などを目的としたキャッシュレス対応が進んでいない
- 11 不動産や賃貸オフィスの価格が高く、事業スペースの確保が困難である
- 12 日中のエネルギー消費量が多く、エネルギー利用効率化の余地がある
- 13 再生可能エネルギーの導入が進んでいない
- 14 災害発生時の事業継続対策が不十分である
- 15 みどり豊かな空間整備など、ヒートアイランド現象への対策が遅れている

調達・物流

マーケティング

販売

活動基盤

事業活動

インフラ

【課題仮説立案】 商店街・テナントの課題仮説（インタビュー）

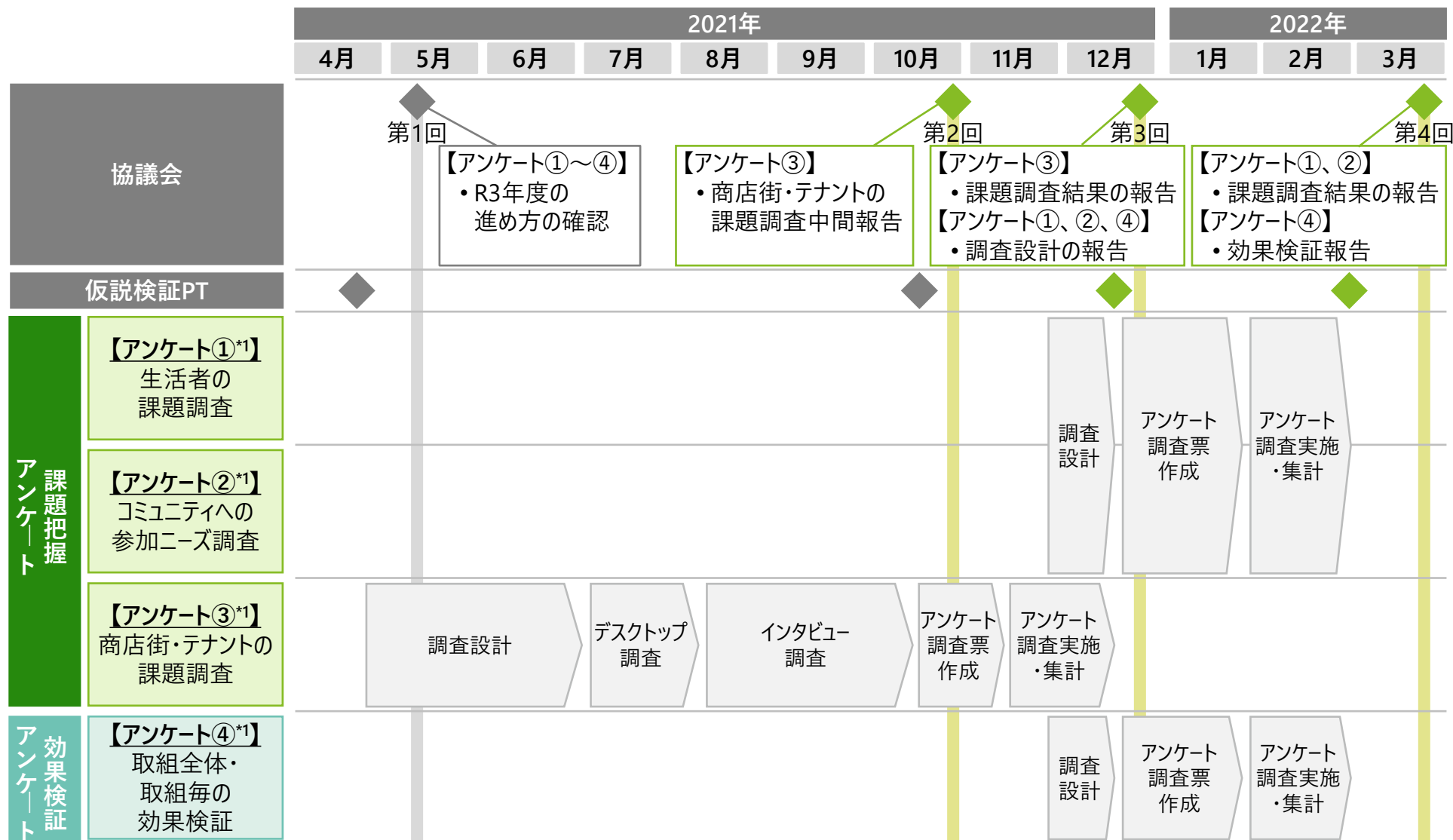
商店街・テナントへのインタビューを通じて、西新宿で商売を営む上での課題仮説を作成

	調達・物流	マーケティング	販売
事業活動	【商店街】 ■ 市場へのアクセスが不便である 【テナント】 ■ 若い人材の応募が少ない 【ビルオーナー】 ■ （特になし）	【商店街】 ■ 商店街の情報発信が有効にできていない 【テナント】 ■ コロナ禍で来店を促進する広報活動が憚られる 【ビルオーナー】 ■ 来街者の属性情報や購買情報の収集・活用ができていない ■ （購買情報を取得できたとしても、）店舗が購買情報を活用できていない	【商店街】 ■ Wi-Fi環境が整備されていない ■ キャッシュレス決済の手数料が高い ■ バリアフリー環境が整備されていない 【テナント】 ■ コロナ禍でまち中の人口が減っている ■ 非接触オペレーション導入が進んでいない ■ バリアフリー環境が整備されていない 【ビルオーナー】 ■ 地域として安心・安全な購買環境が確保されていない
	活動基盤		
インフラ	【商店街】 ■ 避難場所へ迅速な誘導ができるか不安である ■ 発災時の避難案内先が不明である	【テナント】 ■ 賃料が高く、新規出店の障壁となっている ■ 一休みできる緑地が少ない ■ 発災時の避難案内先が不明である	【ビルオーナー】 ■ 従業員の防災知識や避難施設間での情報連携網が不十分である ■ 地域を巻き込んだエネルギー効率化の取組ができていない

課題仮説の検証を行うため、商店街・テナントにご協力いただきアンケートを実施予定

各アンケートのスケジュール案

アンケート③は12月末を目途に、アンケート①②④は本年度末までに実施を予定



*1： 各アンケートの実施時期はCOVID-19の状況を鑑みて検討

Well-Being指標の活用検討

評価指標の区分

前回協議会でのご意見を受け、Well-Being測定のためにLWC指標の活用可能性を検討

第1回協議会での 主なご意見	■ 西新宿の生活者の満足度・幸福度を把握するため、Well-Being指標 ^{*1} を取り入れることができるのではないかとご意見を頂いた ➢ 特に、グローバルで整合性のあるWell-Being指標として、SCI ^{*2} で構築されたLWC指標 ^{*3} をご紹介頂いた
-------------------	--

評価指標の概略図		各指標の概要		
課題を把握し、施策に反映することで生活者のQOL向上を実現		定義	活用目的	本協議会での考え方
都市・エリア固有の課題を把握 個別指標への示唆	【①個別指標】 生活者向けアンケート (西新宿)	■ 各自治体・エリアが独自に用いる指標 ➢ <u>本協議会の生活者向けアンケートが相当</u>	■ 都市固有の課題解決に向けた施策の検討及び評価をすること	■ 昨年度実施済みのアンケートを基に <u>継続してアンケート調査を実施することで課題の経年変化を測定</u>する ⇒ 詳細後述
	【②共通指標】 LWC指標 (日本) Better Life Index (国連) RMIT モデル (オーストラリア)	■ 各自治体・エリア間における共通の指標 ➢ <u>SCI構築のLWC指標</u> 等	■ 都市・エリア間の比較を通してマクロな課題を把握すること ■ エリア間比較やマクロな課題把握を通じて個別指標を精緻化すること	■ Well-Being測定のため、日本の基礎自治体向けに構築された <u>LWC指標の活用可能性を検討した</u> ⇒ 検討結果後述

^{*1}：満足度・生活の質に関する指標群 ^{*2}：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート
^{*3}：Liveable & Well-Being City指標の略。一般社団法人スマートシティ・インスティテュートが提唱するWell-being指標

【①個別指標】 生活者向けアンケートの活用状況

①個別指標

②共通指標

個別指標としては生活者向けアンケートによる課題把握・経年変化の測定を実施している

目的

- 西新宿エリアにおける優先課題を抽出し、施策を通じた課題の解決状況を確認する

（アンケートで実施）
測定指標

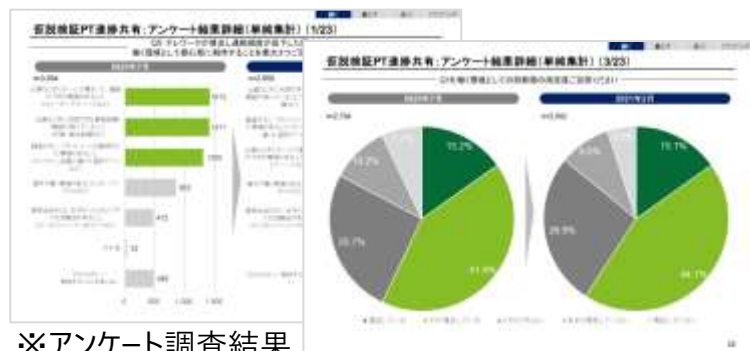
課題把握アンケート

- R2年度に抽出された優先課題の解決状況
 - 課題カテゴリ毎の満足度
- ※コミュニティへの参加ニーズや商店街・テナント等の課題も調査予定

効果検証アンケート

- 課題解決の取組に対するニーズ・満足度

アウトプットイメージ



測定指標詳細（西新宿の優先課題）

働く	必要ときに利用できる事務設備・機能が揃っていること	遊ぶ 勤務後	他地域には無い地域独自の飲食店があること
	騒音がなく、プライバシーの確保された環境があること		多種多様な商品・サービスが揃っていること
	必要ときにチームで集まって、議論ができる環境があること		流行の最先端にある商品やサービスを体験できること
	屋外で働く環境があること		生でレベルの高い芸術を鑑賞できること
	普段出会わない社外の人とのビジネス交流機会があること		特定の領域に特化して商品やサービスの選択肢が豊富にあること
暮らす	清潔感が保たれていること	交流する	友人や知人との交流機会があること
	事故・犯罪が少ないこと		家庭や職場とは異なる憩いの場があること
	災害に強いこと		新しい友人を作る機会があること
	休憩できるスポットが多いこと		外国人等との国際的な交流機会があること
	静かで落ち着いていること		世代を超えた交流機会があること
休日 遊ぶ	多種多様な商品・サービスが揃っていること	移動する	悪天候でも快適に移動できること
	生でレベルの高い芸術を鑑賞できること		まちなかの歩行空間にゆとりがあること
	流行の最先端にある商品やサービスを体験できること		移動空間での3密を回避できること
	屋外で飲食できるスペースが多いこと		まち歩きが楽しいこと
	他地域には無い地域独自の飲食店があること		目的地まで最短距離で移動できること
休日 休む	屋外で飲食できるスペースが多いこと	情報を得る	エリアの様々な情報が網羅的に手に入ること
	団らんでできる場所が多いこと		日常生活の中で自然にエリア情報が手に入ること
	リフレッシュや運動に適した場所が多いこと		信頼できる個人の口コミ情報が手に入ること
	豊富な自然に触れられること		
	他地域には無い地域独自の飲食店があること		

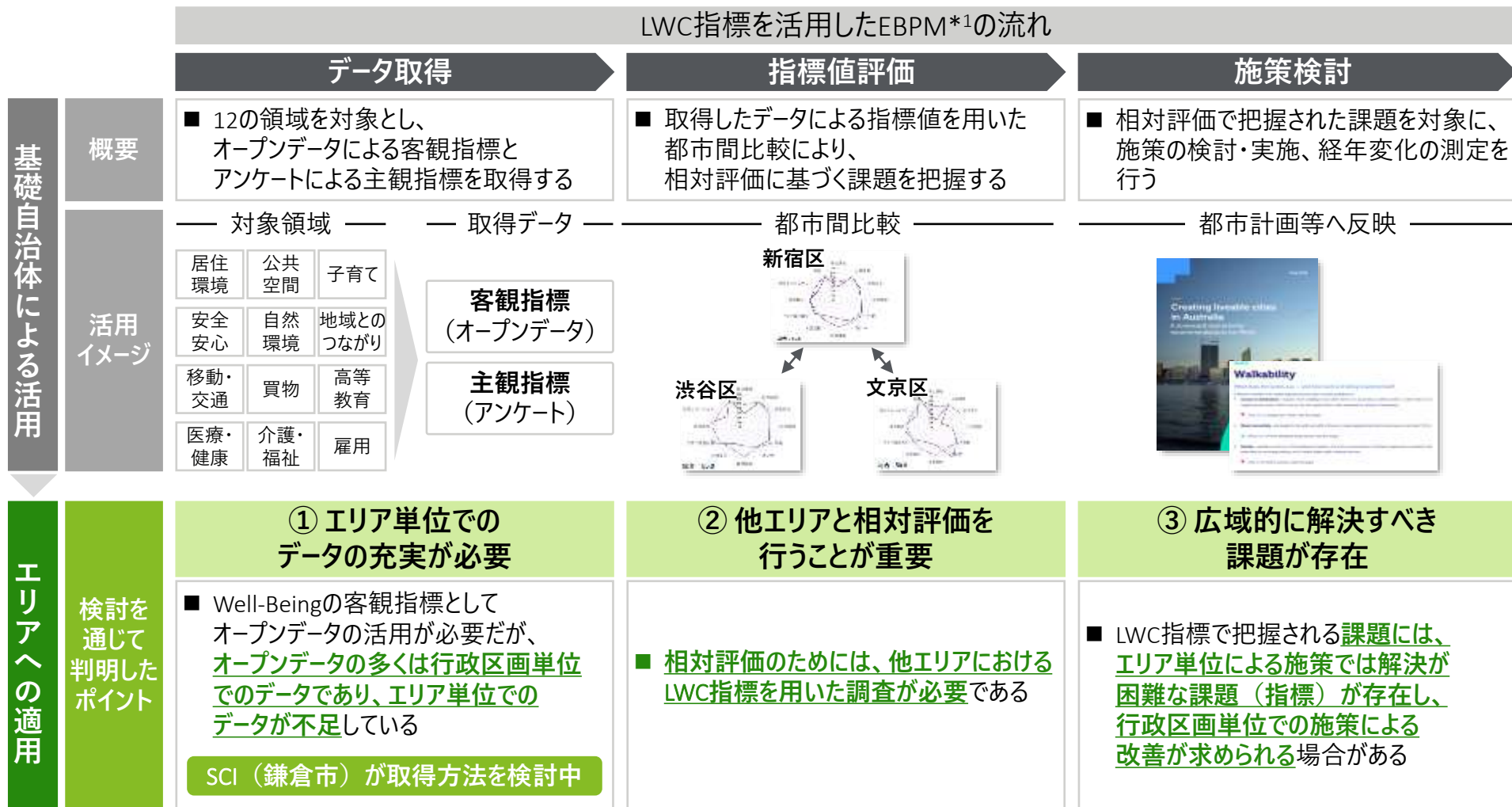
今後も継続して生活者向けアンケートを行うことで、
西新宿エリアにおける優先課題の最新化や課題の経年変化の測定を実施予定

【②共通指標】 LWC指標の活用検討

①個別指標

②共通指標

LWC指標は基礎自治体での活用が想定されている。エリア適用には3つのポイントが存在



今後に向けて、まずはエリア単位でのデータ取得方法について調査・研究を行う

*1： Evidence-Based Policy Making、エビデンスに基づく政策形成

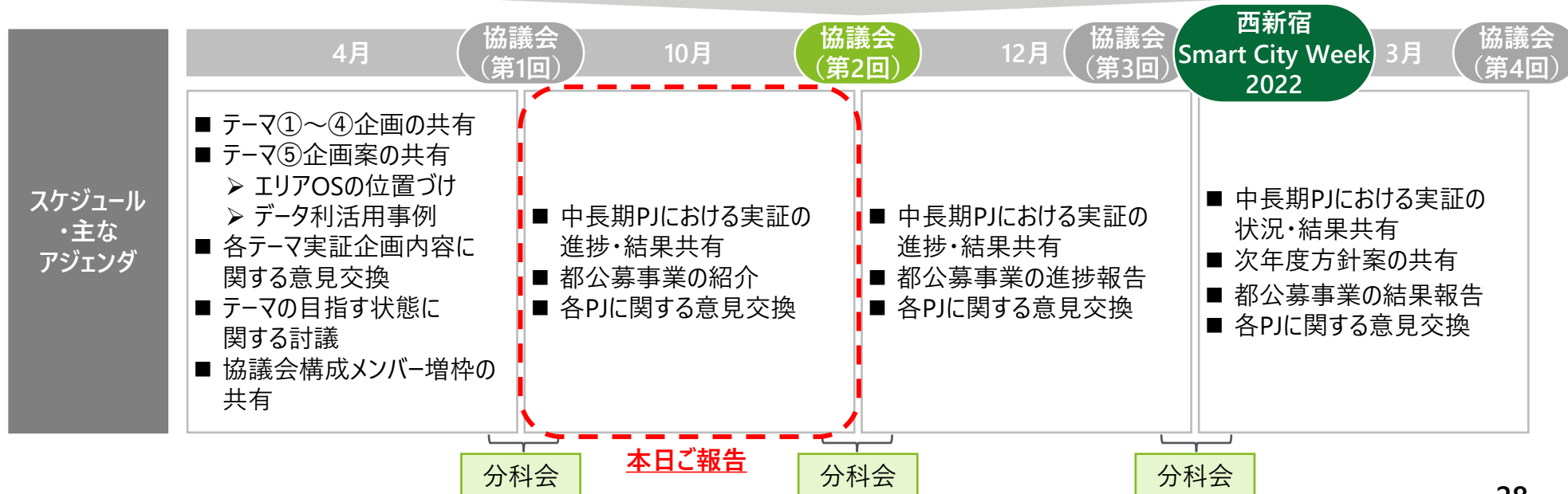
出所：一般社団法人スマートシティ・インスティテュート「Liveable Well-Being Cityの指標（β版）」（2020年10月）

5.【課題解決PT・都市OS検討PT】 各テーマ進捗状況の報告

課題解決PT・都市OS検討PTの実施方針案

本日は、中長期PJの進捗状況の報告と意見交換に加え、都公募事業について紹介

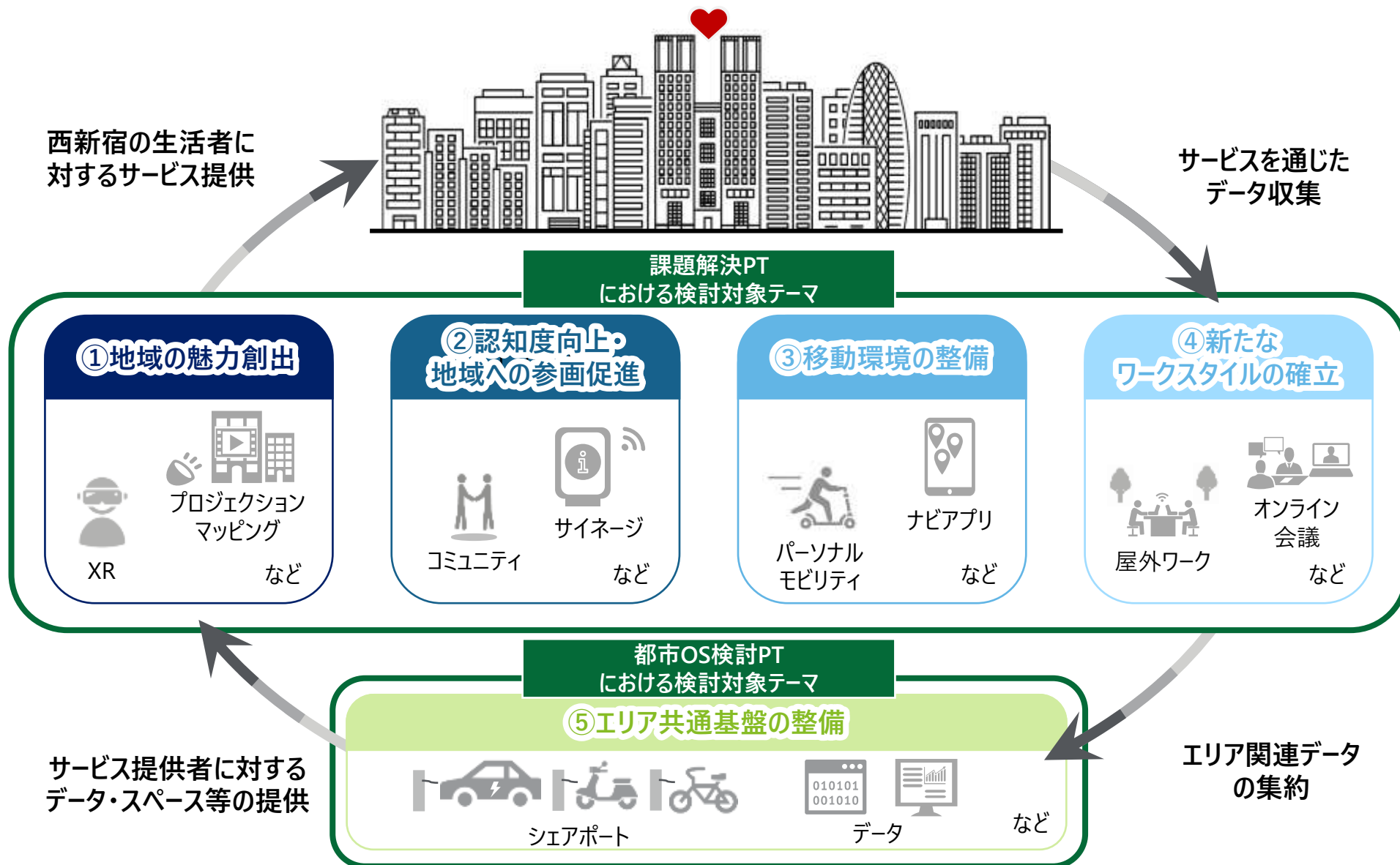
	課題解決PT	都市OS検討PT
ミッション	■ 優先的に解決すべき課題に対する施策を実行すること	■ データ利活用に対する関係者の理解を促進すること ■ データ利活用を推進するための論点を明らかにすること ■ データを基軸としたエリアの共通基盤を構築すること
参加者	■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区	■ 通信事業者 ■ プロジェクトリーダー ■ フェロー
実施事項	■ 各テーマの3年間の企画内容共有 ■ 各テーマのR3年度実証内容共有 ■ 企画の進捗状況・課題感・成果（効果検証結果）共有 ■ 新たなPJ立ち上げに関する状況共有 ■ テーマの目指す状態に関する討議	■ エリアOSの考え方共有 ■ 西新宿におけるデータ利活用案の企画検討 ■ テーマ⑤実証企画・結果の共有



中長期的な視点での検討テーマの全体像

中長期的な視点での検討テーマの全体像

西新宿でテーマ毎に実現される2~3年後の状態の実現に向けたプロジェクトを推進



※各テーマに記載している内容は例示

中長期の課題解決プロジェクト（2021年10月時点）

西新宿の課題解決プロジェクトを新たに2つ加え、計7つのプロジェクトで推進中

テーマ	実現される2~3年後の状態	プロジェクト名	プロジェクトリーダー	施策概要
①地域の 魅力創出	平日・休日や時間帯を問わず、 西新宿の特性を活かしたコンテンツを 提供・体験し、楽しんでいる状態	①-1. 新宿WoW プロジェクト		地域資源を活用した魅力的な コンテンツの創出・ コンテンツ間の連携促進
②認知度 向上・地域へ の参画促進	個人のニーズに合った情報や 地域内コミュニティ活動の情報が 手に入ることで「人と人」「人と都市」が つながれる状態	②-1. コミュニティ形成・ 交流人口増加 プロジェクト		地域内外での交流活性化を 図る部活動コミュニティ活動等 の実施
		②-2. スマートシティ カレンダー		エリア内情報をカレンダーアプリ に連携することによる 情報集約と情報発信
		②-3. 西新宿LOVE Walker プロジェクト		生活者参加型の Webメディアによる エリアの情報発信
③移動環境 の整備	誰もがニーズに合った移動方法を選択し、 ゆとりある空間で、 安心・快適にエリア内を移動できる状態	③-1. 次世代モビリティ プロジェクト		西新宿の魅力スポット、 ワークスペースをつなぐ 次世代モビリティの提供
④新たな ワークスタイル の確立	特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、 エリア内外のワーカーが 高い生産性で働けている状態	④-1. 西新宿CAMP プロジェクト		先端技術を備えた屋外ワーク スペースやジョブマッチング プラットフォームの構築
⑤エリア共通 基盤の整備	エリア内の実証や各種サービス実装に必要となる 共通基盤（ハード・データ・ルール等）の 利活用が円滑かつ迅速にできる状態	⑤-1. 西新宿TSUNAGU プロジェクト		各プロジェクトの拡大に係る エリア共通基盤の整備

新規参加

新規プロジェクトの立ち上げ及びプロジェクトへの参加希望は四半期毎に受付いたします

プロジェクトの進捗状況

テーマ①：地域の魅力創出

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：①地域の魅力創出

西新宿の課題

屋外で飲食できる
スペースの拡充

他地域には無い地域
独自の飲食店の拡充

豊富な自然に
触れられる環境の拡充

友人や知人との
交流機会の提供

団らんで
場所の拡充

平日・休日や時間帯を問わず、
西新宿の特性を活かしたコンテンツを提供・体験し、楽しんでいる状態



自然を感じられる野外飲食スペース
(出所：SHUKNOVA HP)



飲食店のリアルタイムの空席状況の可視化
(出所：VACAN HP)



XRイベント (XR Collection & Museum)
(出所：XRシティ SHINJUKU HP)



屋外映画イベント
(出所：小田急電鉄 HP)

①-1.新宿WoWプロジェクト（小田急電鉄株式会社）

テーマ

①地域の魅力創出

解決を目指す西新宿の課題

- 屋外で飲食できるスペースの拡充
- 豊富な自然に触れられる環境の拡充
- 友人や知人との交流機会の提供

2-3年後に目指す姿

- エリア内のイベント等を通じて、受動的体験に加えて能動的体験で西新宿の魅力を楽しめている状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- コンテンツホルダー：コンテンツ事業者等
- デジタル技術（XR）：通信事業者

施策概要

- 地域資源・地域イベント等を活用し、魅力的なコンテンツの発掘及び創出やコンテンツ間の連携を促進し、魅力が生まれるプラットフォームの構築を推進する。

3か年計画

1年目

- 既存イベント（Candle Night、屋外映画、ビアマーケット等）への新規コンテンツの追加
 - ✓ WOWセッション：中止
 - ✓ WOWシネマ：中止
 - ✓ **Candle Night @ 新宿中央公園**

2年目

- 既存イベント等のプラットフォーム化の拡充

3年目

- リアル×デジタル×コンテンツの融合

想定KPI

- 参画プレイヤー数（地域プレイヤー・地域外プレイヤー）各 + 1
- 提供コンテンツ数各イベント + 2 コンテンツ
- 体験ユーザー数（女性参加割合・夜間活動状況）※要検討

プロジェクトの進捗状況

テーマ②：認知度向上・地域への参画促進

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：②認知度向上・地域への参画促進

西新宿の課題

友人や知人との
交流機会の提供

友人知人からの口コミを
促すコミュニティの形成

西新宿エリア全体での
統一的な情報の発信

他エリアと比べて特徴的な
まちのブランドイメージ確立

個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が
手に入ることで「人與人」「人と都市」がつながれる状態



デジタルを活用した交流イベント

西新宿Walker



ポータルサイトを通じた情報発信
(出所：西新宿LOVE WALKER HP)



オンライン×オフラインの交流



デジタルサイネージ
(出所：東京都次世代通信推進課note)

②-1.コミュニティ形成・交流人口増加（東日本電信電話株式会社）

テーマ

②認知度向上・地域への参画促進

解決を目指す西新宿の課題

- コロナ禍によるコミュニケーションの減少（→増やしたい）
- 物理/心理的に人が集まる場所が少ない（→増やしたい）
- ハード/ソフト面で認知度が低い（→高めたい）

2-3年後に目指す姿

- 企業・世代間の交流質の増加により、「在勤・在住していることに満足できている（Well-being※）」状態を実現
※身体的、精神的、社会的に良好な状態にあること
- 個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人與人」「人と都市」が繋がっている状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- 東日本電信電話株式会社（プロジェクトリード）
- 日本芸能実演家団体協議会（コンテンツ協力）
- クリアソン新宿（コンテンツ協力） など

※本協議会参加企業をはじめ、事業拡大に応じて企業巻き込み

施策概要

- 様々な属性（例：ビジネス、学生、住民）に向け、コミュニティを形成し繋がりを作ることで、左記課題の解決を図る
- 西新宿エリアの魅力発掘・認知度向上につながるコミュニティを複数形成するために、コミュニティ対象層を拡大
- コミュニティ自走化や拡充に向けて、地域のキーマン（コミュニティオーナー）を草の根的に見出す仕組みを構築

3か年計画

1年目

- 実践コミュニティ数2
- 参加者の満足度（平均）が高い状態 ※1

2年目

- 西新宿エリアにおけるコミュニティが自発的に出来る仕組みの形成と支援

3年目

- 西新宿エリア以外におけるコミュニティが自発的に出来る仕組みの形成と支援 ※西新宿エリアと連携

想定KPI

- 参加者の満足度（平均）が高い状態 ※1
- 実践コミュニティ数 <コミュニティスタート2以上>

※1 NPS（ネットプロモータスコア）が「0以上」である状態
→サービスに対する評価を11段階で顧客に実施してもらい、サービスの「推奨者」「批判者」に分別。「推奨者の割合」が「批判者の割合」より多い状態

【備考】新型コロナウイルス感染症拡大による市場の変化のため、一部KPIを変更

プロジェクトの進捗状況

テーマ③：移動環境の整備

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：③移動環境の整備

西新宿の課題

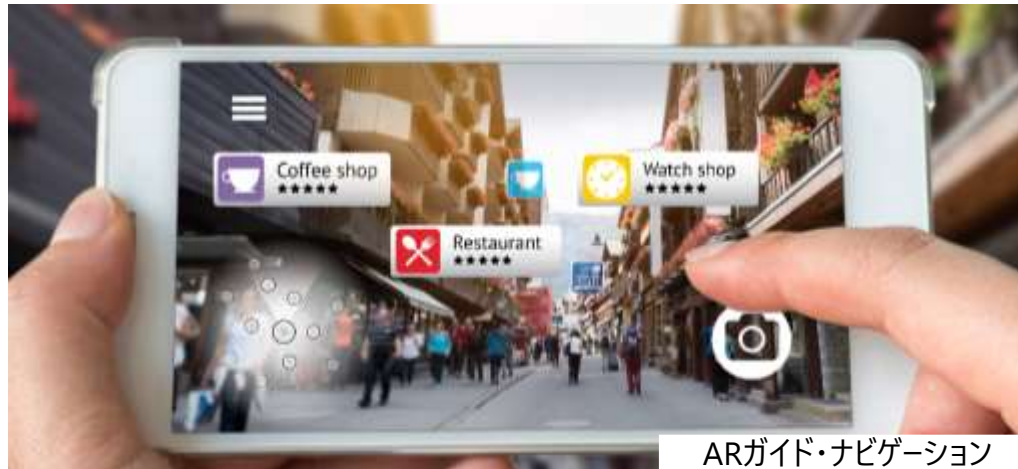
ゆとりのある、まちなかの歩
行空間の提供

3密を回避できる
移動空間の提供

清潔感が保たれている
環境の提供

災害対応力、
バリアフリー対応力の強化

誰もがニーズに合った移動方法を選択し、
ゆとりある空間で、安心・快適にエリア内を移動できる状態



ARガイド・ナビゲーション



自動運転タクシー
(出所：環境改善委員会 HP)



混雑情報の可視化
(出所：アイエンター HP)



電動キックボード
(出所：Luup HP)



コンパクトカー

③-1.次世代モビリティプロジェクト（損保ジャパン）

テーマ
③移動環境の整備
解決を目指す西新宿の課題
■ エリア内各魅力スポットへの移動手段の提供（回遊性の向上） ■ 3密を回避できる移動空間の提供
2-3年後に目指す姿
■ 西新宿で働く・遊ぶ・暮らす人々が、複数の次世代モビリティを利用可能でエリア内の目的地まで安心・安全・快適に移動することができる状態
プロジェクト参加者・役割（案）
■ 自動運転サービス実証実験 東京都・公募「西新宿エリアにおける自動運転移動サービス実現に向けた5Gを活用したサービスモデルの構築に関するプロジェクト（事業プロモーター：日本エヌ）」の採択を受けて実施 ・ 大成建設（代表企業・インフラ協調） ・ ティアフォー（自動運転システム） ・ アイサンテクノロジー（高精度三次元地図） ・ KDDI（5G） ・ 日本信号（インフラ協調） ・ 大成ロテック（インフラ協調） ・ プライムアシスタンス（遠隔見守り） ・ 小田急電鉄（交通事業者）など ■ 自動配送サービス実証実験 東京都・公募「5Gを含む先端技術を活用した西新宿エリアにおけるスマートシティサービス実証事業」の採択を受けて実施 ・ ティアフォー（代表企業・自動走行ロボット） ・ KDDI（5G） ・ 小田急電鉄（配送ユースケース）など

施策概要	
■ 西新宿の魅力スポット、ワークスペースをつなぐ次世代モビリティの提供 ■ 安心・安全・快適な移動サービス実現に向けた取組み ■ 各移動サービスの連携に向けた検討	
3か年計画	
1年目	■ 路車間通信(V2X／5G)を活用した安心・安全な自動運転移動サービス実証実験の実施 ■ 公共交通事業者、次世代モビリティサービス事業者との対話実施
2年目	■ 乗降スポット拡大、エリア内広範囲で三次元地図整備、ダイナミックマップ検証等 ■ 公共交通、次世代モビリティサービスとの連携検討
3年目	■ 次世代モビリティ移動サービスと公共交通のシームレスな接続検討 ■ エリア内他サービスとの連携検討
想定KPI	
■ 乗車アンケートの満足度（安心・安全・快適性など） 目標値：90％以上満足 ■ 歩行と比較した場合の移動時間の効率化 目標値：50%以上短縮 その他、魅力スポットへの立ち寄りやすさなど	

プロジェクトの進捗状況

テーマ④：新たなワークスタイルの確立

テーマ毎の実現される2~3年後の状態：④新たなワークスタイルの確立

西新宿の課題

必要なときにチームで集まって、
議論ができる環境の提供

騒音がなく、プライバシーの確保された
環境の提供

特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、
エリア内外のワーカーが高い生産性で働けている状態



VR会議



屋外で働けるコワーキングスペース
(出所：新宿区、WWD HP)



オンライン会議ができる会議スペース



スタートアップ支援拠点（TOKYO UPGRADE SQUARE）
(出所：東京都 HP)

④-1.西新宿CAMPプロジェクト（KDDI・大成建設・KDDI総合研究所）

テーマ

④新たなワークスタイルの確立

解決を目指す西新宿の課題

- 必要な時にチームで集まって議論ができる環境の提供
- 騒音がなく、プライバシーの確保された環境の提供
- 普段出会わない社外の人とのビジネス交流機会があること

2-3年後に目指す姿

- 都市に集いたくなる、セレンディピティのある、快適な場所がある
- 多様な働き方を支える、多様な場がある
- 円滑なコミュニケーションを支える通信環境がある
- 新しい仲間と挑戦したい仕事が見つかり、やりがいが増殖する（＝遊ぶように働ける）

プロジェクト参加者・役割（案）

- KDDI・KDDI総合研究所：
5G・AI・XR等先端技術の組込み、PFの構築
- 大成建設：実施場所の確保、施設の構築

施策概要

- 先端技術を備えたワークスペースの構築
- 企業・自治体を超えたジョブマッチングPFの構築

3か年計画

1年目

- PFの要件定義・構築
 - 空間のデザイン・構築
 - 実証
- ※東京都の5G等活用サービス実証公募に採択

2年目

- 実証拡大（実施場所や参加企業を拡大）、持続性評価

想定KPI

- ワークスペース：稼働率 50%
- ジョブマッチング：参加組織数 10組織

プロジェクトの進捗状況

テーマ⑤：エリア共通基盤の整備

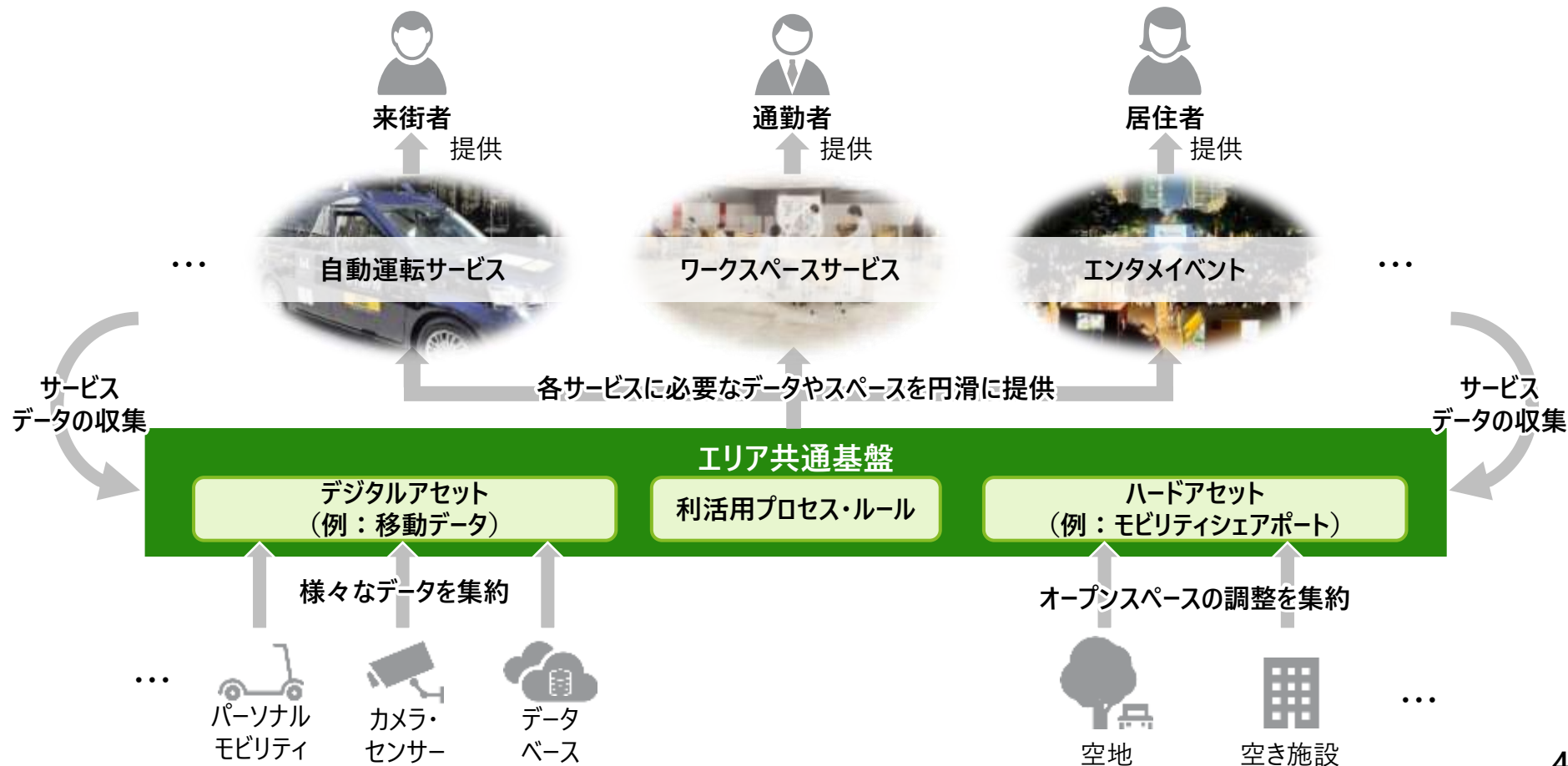
テーマ毎の実現される2~3年後の状態：⑤エリア共通基盤の整備

短期実証を進める中で再認識された課題

エリアに関連する官民データの
円滑な共有及び利活用の促進

エリア内のオープンスペースの利用促進

エリア内の実証や各種サービス実装に必要な共通基盤 (ハード・データ・ルール等) の利活用が円滑かつ迅速にできる状態



⑤-1.西新宿TSUNAGUプロジェクト（新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都）

テーマ

⑤エリア共通基盤の整備

解決を目指す西新宿の課題

- エリアに関連する官民データの円滑な共有及び利活用の促進
- エリア内のオープンスペースの利用促進

2-3年後に目指す姿

- エリア内の実証や各種サービス実装に必要な共通基盤（ハード・データ・ルール等）の利活用が円滑かつ迅速にできる状態

プロジェクト参加者・役割（案）

- 新宿副都心エリア環境改善委員会
（ハードアセットやハードアセット関連データの収集・提供）
- 東京都
（デジタルアセット（エリアOS）の構築）

施策概要

- オープンスペースの利用促進に向け、エリア共通基盤として対象とするハードアセットやデジタルアセット（エリアOSやデータ）、及びその管理・運用方法を実証等を通じて検討
- ハードアセットやデジタルアセットを利用する際のルールやプロセスを検討
- エリア共通基盤を管理運用する組織体制やビジネスモデルを検討

3か年計画

1年目

- 特定の移動サービスにおける活用をケースに、共通基盤の検討・実証を実施

2年目

- 活用する移動サービスの幅を拡張し、継続した実証を行うとともに、一部の機能を実装

3年目

- 移動以外の分野にサービスの幅を拡張し、継続した実証を行うとともに、実装機能を拡張・強化

想定KPI

- 検証観点① エリアOSに求める機能を実証・実装できたか
- 検証観点② 西新宿で展開するサービスの高度化に寄与できているか
⇒想定KPI：連携サービス数 10件
- 検証観点③ センサーや他システムと連携してデータを収集できているか
⇒想定KPI：利用できるデータ種数 6種類

西新宿エリアにおけるエリアOSの在り方とユースケース案

移動をテーマとしたオープンスペース利活用の円滑化を目指して3つの実証を実施

西新宿エリアにおける エリアOSの在り方

- エリアマネジメント活動の高度化、ひいてはエリア価値の向上を企図し、エリア関連データの連携基盤であるエリアOSの構築を目指していく

エリアOSの位置づけ



目的

- 西新宿エリアにおいて他の課題解決テーマとの連携が重要となる“移動”をケースとし、オープンスペース利活用を円滑化する実証を実施
 - エリア内のオープンスペース情報や人流データ等を集約・可視化・分析しオープンスペース利活用検討者に提供
 - オープンスペース利用促進に向けた効率的な利用申請への対応

ユースケース案

【案①】 データ ライブラリ

- オープンスペースの利活用促進のため、オープンスペース情報等のデータセットを集約・一覧化して提供する

現状を正しく知る



【案②】 ダッシュ ボード

- オープンスペース利活用促進のため、オープンスペースの空き状況や利用申請への対応状況等を可視化する

分かりやすく伝える



【案③】 人流予測 シミュレータ

- オープンスペース利活用者のサービス品質向上や新規参入推進のため、時間帯単位での人流予測情報を提供する

サービスを高度化する



【ユースケース案①】 データライブラリ

オープンスペースの利用者増加や利用申請対応の効率化を企図し、データライブラリを構築

取組概要

対象ユーザー	■ オープンスペース利活用者 (B2Cサービス事業者)
解決すべき課題	■ サービスを提供するための、<u>オープンスペース等の情報がまとまっておらず把握できない</u> ➢ オープンスペース利用時の利用条件・申請 ➢ エリア内の人流情報 等
課題解決策 (実証内容)	【データライブラリの構築】 ■ エリア内の<u>オープンスペース情報を集約し、検索・ダウンロードできるように一覧化</u>
期待される価値・効果	■ <u>オープンスペース利活用者の増加</u> ➢ オープンスペース利活用者がウェブ上で利用可能なオープンスペース情報と利用条件・申請方法が確認可能 ■ <u>オープンスペース利用申請への対応の効率化</u> ➢ スペース調整者・提供者の個別申請に対する確認頻度の低減

データライブラリ概要

主な機能	■ 基本機能：各種ID発行、閲覧権限の設定、ログイン ■ データ管理：DLデータのストレージ、外部サーバとのAPI連携、検索・閲覧・ダウンロード履歴の保管 ■ 中核機能：データの検索・閲覧・ダウンロード、データ利用のためのAPI連携
Input	■ 動的データ：人流データ ■ 静的データ：オープンスペースデータ ■ メタデータ：検索・閲覧・ダウンロード履歴
Output	 ✓ オープンスペースに関する情報や利用条件

【ユースケース案②】 ダッシュボード

オープンスペースの利用頻度増加や利用申請対応の効率化を企図し、ダッシュボードを構築

取組概要

対象ユーザー	■ オープンスペース利活用者 (B2Cサービス事業者)
解決すべき課題	■ オープンスペースへの利用申請に対して、 <u>個別に確認が必要であり効率的な対応が難しい</u>
課題解決策 (実証内容)	【ダッシュボードの構築】 ■ <u>エリア内の人流データや利用可能なオープンスペースを2D/3Dマップ上に可視化*</u> ■ <u>オープンスペースの利用申請や問い合わせへの対応状況を可視化</u>
期待される 価値・効果	■ <u>オープンスペースの利用頻度の増加</u> ➢ オープンスペース利活用者が ウェブ上で容易に利用申請や問い合わせが可能 ■ <u>オープンスペース利用申請・問い合わせへの対応の効率化</u> ➢ 利用申請や問い合わせへの スペース調整者・提供者の対応状況を管理

ダッシュボード概要

主な機能	■ 基本機能：各種ID発行、閲覧権限の設定、ログイン ■ データ管理：データのストレージ、 外部サーバとのAPI連携、 利用申請・問い合わせ履歴の保管 ■ 中核機能：オープンスペース情報の検索・閲覧、 オープンスペースへの利用申請・問い合わせ、 エリアデータの閲覧*1（人流データ 等）
Input	■ 動的データ：人流データ ■ 静的データ：オープンスペース情報 ■ メタデータ：利用申請・問い合わせ履歴 ■ 地理空間データ：2D・3Dマップデータ
Output	 ✓ オープンスペースの一覧と3Dマップ上での表示

*1：ユースケース③（人流予測シミュレータ）の結果も閲覧可能

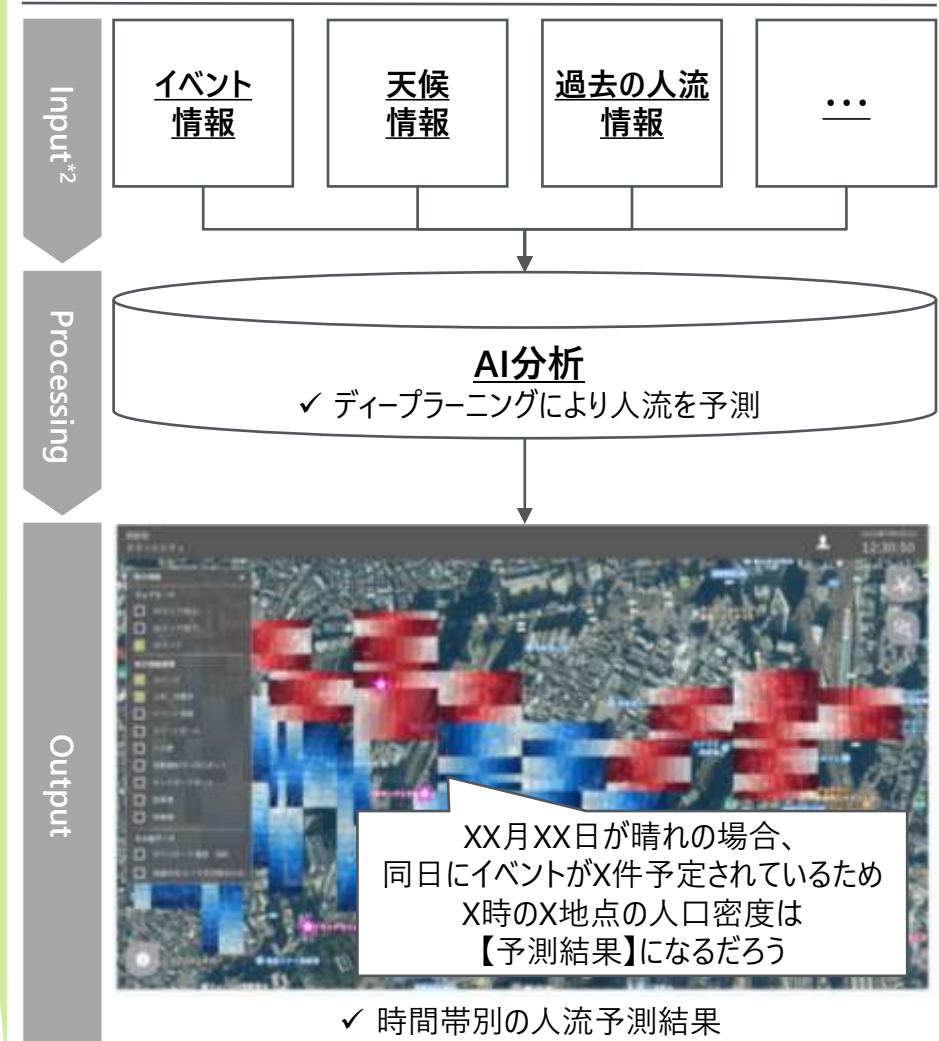
【ユースケース案③】 人流予測シミュレータ

サービス品質向上や新規参入者の増加を企図し、人流予測シミュレータを構築

取組概要

対象ユーザー	■ オープンスペース利活用者 (B2Cサービス事業者)
解決すべき課題	■ <u>最適なイベント開催日時や場所を検討するための人流等の情報が不足している</u> ➢ 他イベントや天候等を鑑みたイベント開催日検討 ➢ モビリティ利用者数を鑑みたポート設置場所 等
課題解決策 (実証内容)	【<u>人流予測シミュレータの構築</u>】 ■ <u>イベント有無や天候、過去の人流情報を基に、AI分析による人流を時間帯別に予測^{*1}</u>
期待される価値・効果	■ <u>オープンスペース利活用者のサービス品質の向上</u> ➢ 人流予測結果に基づく次世代モビリティの運用の最適化 ➢ イベント開催日時・場所の検討の円滑化 ■ <u>新規オープンスペース利活用者の参入推進</u> ➢ 人流データを必要とするB2Cサービス事業者 等

人流予測シミュレータ概要



*1：ユースケース案②（ダッシュボード）上で閲覧可能

*2：主なインプット例を記載

1. スマートポールの面的設置

目 的

西新宿エリアでデザイン及び搭載機能を統一したスマートポールを面的に整備し、搭載機能等の有用性及び収益性等を検証することで、今後の展開について方針を明確化

概 要

- ・5 G アンテナ基地局、高速Wi-Fi及びセンサー等の様々な機能を備えた次世代都市インフラ
- ・つながる、見える、伝わるの3つの機能を搭載

事業者

JTOWER



NTT 東日本



【ポール型（イメージ）】



【サイネージ型（イメージ）】

つながる

見える

伝わる



スマートポールの付加価値の増大に向けた各種検証

●Wi-Fiによる電波の道の構築

Wi-Fiのシームレスな登録認証の実現に向けた検証を実施



●きめ細かな気象測定と都民向けサービス

気象環境データを可視化しサイネージ掲出することで、熱中症など注意喚起

●人流計測・混雑状況の可視化

センサーカメラで人流データを取得し、AIによるデータ分析



●サイネージを活用した「伝わる広報」

カメラ画像をAI分析することでサイネージの視聴率を計測し、コンテンツ作成に反映

収益性の向上に向けた取組

●デジタルサイネージへの商業広告の掲出

西新宿エリアの既存のサイネージと連携することで、収益性の最大化などを検証

●各種データの利活用に向けた検討

収集された各種データについて、民間事業者での利活用の可能性を検証

2. 5G等活用サービス

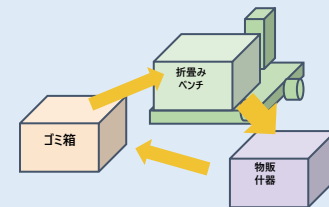
目 的

- ・西新宿エリアを全国に先行する 5 G 等活用サービスの実証エリアとすること
- ・ 5 G 等活用サービスの有用性を多くの都民の方に知っていただくこと
- ・都内において 5 G 等活用サービスの事業化を促進すること

概要・実証者 (五十音順)

株式会社NH研究所 パレット（無人移動台車）を活用したプラットフォームサービス

自動走行パレットを活用した物販やゴミ箱、折畳みベンチなど多様なサービス提供を可能とする自動配送サービス



パレットに様々なサービスを搭載可能



5Gによる高解像度映像を活用したモニタリングのイメージ

株式会社KDDI総合研究所 新たなワークスタイルの確立 5G×屋外ワークスペース

西新宿に 5 Gを活用した新しいサテライトワークスペースを設置360°映像の伝送や音のVR (音場)*等の技術で遠隔地とのグループワークでも一体感を醸成
※特に聞きたい話者や注視対象に着目して音量や聞こえる方向を変化させる技術



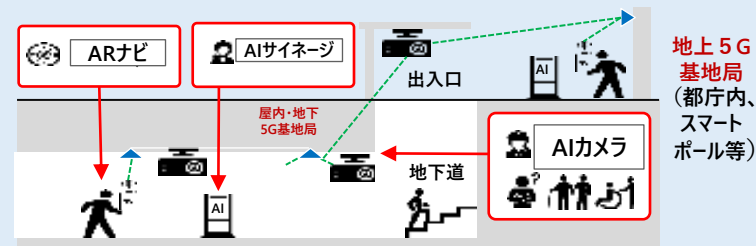
2. 5G等活用サービス

概要・実証者

株式会社JTOWER

地上でも地下でも安心・安全かつスマートに移動できる街づくり

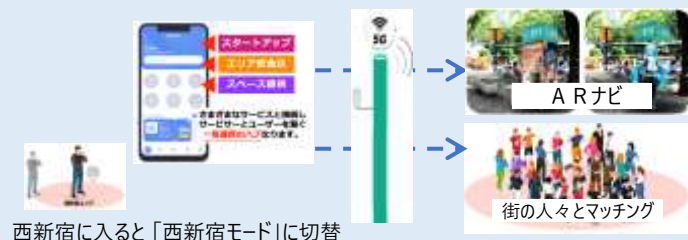
AIサイネージ・ARナビアプリを活用し、地上・地下部分をシームレスにつなぐ移動支援サービス



ジョルダン株式会社

「ITのチカラで西新宿を賑わいのある街へ」

エリア情報収集、飲食店の混雑状況確認、オンライン注文、ARナビ、マッチング等の機能を有するスマートシティアプリ

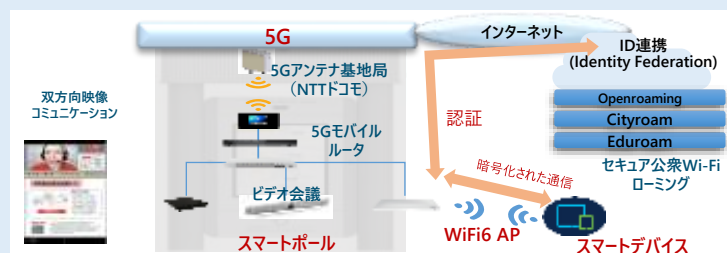


西新宿に入ると「西新宿モード」に切替

シスコシステムズ合同会社

セキュア公衆Wi-Fiローミング・双方向多言語コミュニケーションサービス

セキュアかつストレスフリーなWi-Fiサービス、多言語翻訳が可能な双方向映像による外国人相談窓口サービス



2. 5G等活用サービス

概要・実証者

株式会社ティアフォー

5G × 自動配送サービスプラットフォーム事業

あらゆるモノ・サービス・情報を届けることが可能な自動配送ロボットを活用したラストワンマイル配送のプラットフォームサービス



株式会社ビーブリッジ

5G×ARの先端技術を活用した新たな移動体験サービスの提供

ARガイドナビゲーションアプリで、目的地まで迷うことなくスムーズな移動体験を提供するとともに、目的地ではARキャラクターが関連するスポット情報を解説
AR眼鏡(スマートグラス)と連動したコンテンツの体験イベントを実施



Fullon株式会社

ヒト検知AIと非GPSロケーションサービスによるスマートシティプラットフォーム

カメラ画像をAI解析するシステムとGPSを使わない高精度な位置測位技術を活用し、特定スポットにとどまらず西新宿の広いエリアの人流情報を取得
エリアの混雑状況等の情報をダッシュボードで可視化し、スマートシティ化を促進



3. 自動運転

目 的

・輸送ニーズが高い地域特性を持ち、かつ、「スマート東京先行エリア」として先行的に5Gを整備している西新宿エリアにおいて、5Gを活用した自動運転移動サービスの早期事業化を目指した実証を支援することで、西新宿での早期社会実装及び都内他地域等への展開を促進する

概要・実施者

【テーマ】 都心部特有の自動走行困難な
営業ルートでの自動運転バス運行実証

【プロジェクト実施者】 京王電鉄バス株式会社

京王バス株式会社 / 京王電鉄株式会社 / 株式会社京王エージェンシー /
日本モビリティ株式会社 / ソフトバンク株式会社 / あいおいニッセイ同和損
害保険株式会社 / MS&ADインターリスク総研株式会社 ほか

【主な実施概要】

- ・車外カメラ画像やセンサー情報を5Gの大容量通信で送信し、遠隔監視に活用
- ・顔認証情報を5Gの低遅延通信で送受信し、将来の運賃収受サービスの検証等に活用
- ・アプリを活用して自動運転バスの位置情報や車内混雑情報をリアルタイムで提供

【実験車両概要】

- ・日野ポンチョロング2ドアをベースとした自動運転バス
- ・従来の自動走行機能(GNSSやLiDARのスキャンマッチング機能)に加え、LiDARの白線・縁石認識機能を高度化



※写真は車両イメージであり、
実際に使用する車両とは異なります。

【実施予定時期】

令和3年11月から令和4年1月までの
2～3週間程度

【実施予定箇所】

- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～
都議会議事堂 ～ 新宿駅西口

【テーマ】 まちのインフラと協調した
自動運転サービスの運行実証

【プロジェクト実施者】 大成建設株式会社

株式会社ティアフォー / 損害保険ジャパン株式会社 / KDDI株式会社 /
アイサンテクノロジー株式会社 / 日本信号株式会社 / 大成ロテック株式会社
/ 株式会社プライムアシスタンス

【主な実施概要】

- ・信号や道路等に設置したセンサー情報を5Gの低遅延通信で送信し、走行支援に活用
- ・非GPS環境であるトンネルの壁面改良による自車位置推定の精度を向上
- ・カメラ画像や車両情報を5Gの大容量低遅延通信でコネクテッドサポートセンターへ送信し、複数台同時の遠隔見守りに活用

【実験車両概要】

- ・トヨタJPN TAXI 匠をベースとした自動運転車両
- ・LiDARのスキャンマッチング等による自動走行機能に加え、インフラ支援情報による走行性向上、路上駐車回避機能等を拡充



【実施予定時期】

令和3年11月から令和4年1月までの
2～3週間程度

【実施予定箇所】

- ・新宿駅西口 ～ 都庁 ～ 新宿駅西口

【実施パートナー】

- ・小田急電鉄株式会社

西新宿の課題解決に向けた各プロジェクトの推進に関する討議

皆様の忌憚ないご意見をお願いします

討議の 目的	■ 西新宿の課題解決に向けた各検討テーマの推進状況、個別プロジェクト間の連携等を通じた効果的な取組について意見交換を行うこと
討議 したい点	■ 各検討テーマのプロジェクトの更なる魅力向上、円滑な推進のため、各プロジェクトへのご支援やプロジェクト間における協調が可能な点
ルール	■ ご所属や役職などを忘れ、西新宿に関わる一個人としてご意見ください ■ 他の方の意見も踏まえ、量を重視した積極的なご発言をお願いいたします ■ オンラインのため、ご発言の際には①ご所属、②お名前を冒頭に仰ってください ■ 本討議に関する詳細（発言者名・発言者毎の発言内容等）は公開されません ※本協議会の議事録は、概要のみ公開を予定

6.【広報・巻き込みTF】 各企画・取組の実施状況の報告

広報・巻き込みTFの実施方針案

本日は、広報・巻き込みの活動と「西新宿Smart City Week 2022」の企画状況を報告

ミッション	■ 西新宿スマートシティ協議会の取組に協働してくれる個人・企業との繋がりをつくり、コミュニティ化すること ■ 西新宿スマートシティ協議会の方針に共感し、主体的に取組を企画・実行してくれる個人・企業を増やすこと
参加者	■ 環境改善委員会 ■ 東京都 ■ 新宿区 ■ フェロー
実施事項	■ 広報・巻き込み活動： ➢ イベントや基調講演を通じた情報発信や巻き込み、コミュニティとの意見交換会・勉強会の実施 ➢ 公式ホームページ（以降、「HP」と記載）、LINE公式アカウントを通じた情報発信

スケジュール ・主な アジェンダ	4月	協議会 (第1回)	10月	協議会 (第2回)	12月	協議会 (第3回)	西新宿 Smart City Week 2022	3月	協議会 (第4回)
	■ 年間スケジュール案の共有 ■ 西新宿Smart City Week 2022やコミュニティとの意見交換会等の企画に関する意見交換		■ 勉強会・意見交換会の実施状況共有 ■ 西新宿Smart City Week 2022の企画状況共有 ■ HP更新等の広報活動の状況共有		■ 西新宿Smart City Week 2022の企画状況共有 ■ コミュニティ意見交換会結果の共有 ■ 広報活動の状況共有（HP更新等）		■ 広報・巻き込み活動の振り返り ■ 西新宿Smart City Week 2022の振り返り共有 ■ 次年度方針案の共有		

本日で報告

広報・巻き込み活動（全体像）

西新宿エリアの取組に対する認知・関心を高め、熱量の高いコミュニティ形成を推進

協議会への巻き込み等に関する企画

- 西新宿全体の取組をまとめるイベントや、PT/TFメンバー・コミュニティ参加者の理解深化・参画を促進する勉強会等の新たなイベントの実施を検討

勉強会 ※PTメンバー向け

- PTメンバーを対象とした特定のテーマに関する勉強会を実施



意見交換会

- コミュニティメンバーに西新宿の課題や取組内容を共有し、取組に関する意見交換を実施

理解を深められる機会

意見が反映される機会

交流できる機会



認知度向上施策

- スマートシティをテーマとした著名人とのクロストークを実施

理解を深められる機会



西新宿 Smart City Week 2022

- PTの取組や既存イベント等を同時期に集中させたイベントとして実施



公式ホームページでの情報発信等

- R2年度に構築した公式ホームページにおいて、既存コンテンツの更新及び新規コンテンツの追加を行い、西新宿の各種取組に関する情報発信を実施

お知らせや実証等ページでの
情報発信

VOICEやLINE公式アカウントの
紹介を通じた巻き込み

LINE公式アカウントでの情報発信等

- R2年度に構築したLINE公式アカウントの登録者（コミュニティ参加者）に対し、西新宿の情報発信やVOICE等の実施を通じた巻き込み施策を実施

西新宿の取組に関する
新着情報の発信

コミュニティメンバーへの
VOICE・アンケートの実施

勉強会・意見交換会の実施状況

PTメンバー間の知見共有の為に勉強会とコミュニティメンバーとの意見交換会の準備を実施

勉強会（第1回）

都市OS／エリアOSの在り方について

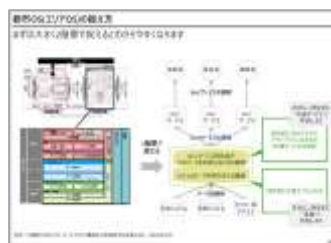
【日時】2021年5月27日

【場所】オンライン（Zoom）

【主催】デロイト

【概要】まちづくりにおける都市OSの意義と事例紹介

【参加者】PTメンバー



Zoomでのアンケート・意見交換

勉強会（第2回）

スマートポールをみんなで使い倒そう！

【日時】2021年7月29日

【場所】オンライン（Zoom）

【主催】東京都

【概要】スマートポールの概要紹介と活用方法の討議

【参加者】PTメンバー



Zoomでの資料共有・意見交換

勉強会（第3回）

オープンスペースを使う

～西新宿のオープンスペースを極める、たったひとつの考え方～

【日時】2021年9月29日

【場所】オンライン（Zoom）

【主催】環境改善委員会

【概要】オープンスペースの利用実態とエリアOS構築の意義

【参加者】PTメンバー



Zoomでの資料共有・意見交換

意見交換会（PT/TFメンバー向け）

Candle Night @ Shinjuku Central Park 2021について

【日時】2021年9月27日

【場所】オンライン（Zoom）

【主催】小田急電鉄

【概要】イベント概要の紹介とにぎわい向上に向けた討議

【参加者】PTメンバー



Zoomでの資料共有・意見交換

「西新宿Smart City Week 2022」の開催案

課題解決策の実証や既存のイベント等を同時期に集中させることでインパクトを創出

対象 ■ 西新宿の生活者（居住者、通勤者、来街者）、都民

実施方法 ■ オフライン（一部オンライン）

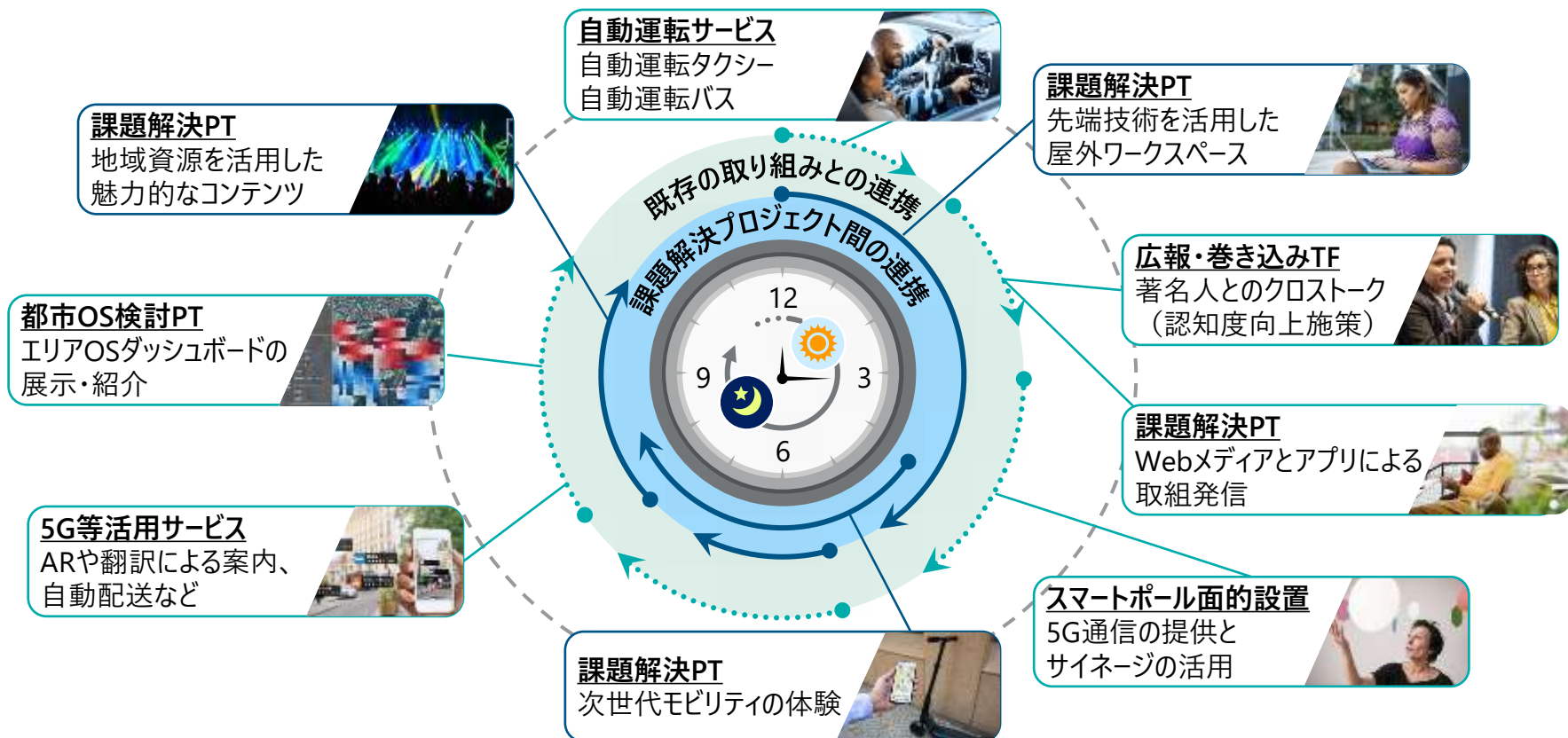
目的 ■ 取組に対する認知・関心を高め、参画を促すこと
■ 企業間の連携強化を図ること、企業参画を促すこと

日程 ■ 2022年1月14日（金）～1月31日（月）

主催 ■ 西新宿スマートシティ協議会

西新宿Smart City Week 2022

西新宿で目指すスマートシティの未来に出逢い、体感する数週間



HP・LINEの活用状況

西新宿の取組と活動実績の発信により認知拡大と本活動への巻き込みを推進

目的

西新宿エリアの関係者や都民に、協議会及び各PTの活動を広く知ってもらうこと、
また本活動へ巻き込むことを目的として、ホームページや公式LINEアカウントを通じた情報発信や施策を行う

西新宿スマートシティ協議会公式ホームページ

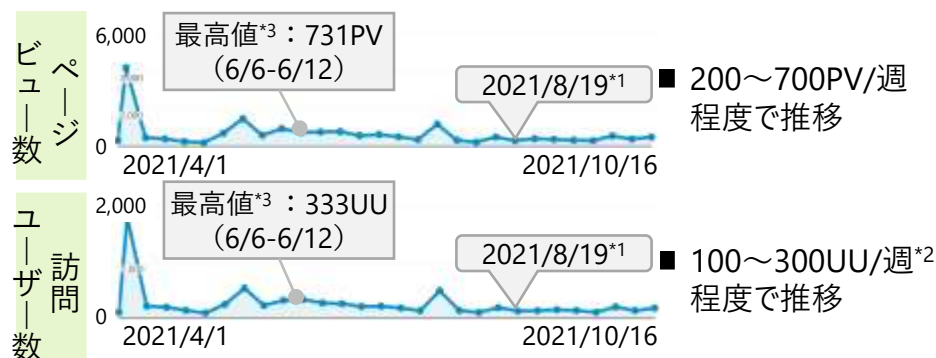
情報発信、HP更新状況

- 第1回協議会開催 (5/14)
- 中長期プロジェクト募集開始 (6/14)
- 自動運転移動サービスやスマートポール、5G等活用サービスに係る事業募集結果 (9/15)
- 西新宿スマートシティプロジェクトのホームページ更新 (9/24)
- 5G等活用サービスに係る二次募集結果 (10/20)



✓ 各プロジェクトの詳細追記等

ページビュー数、訪問ユーザー数 (週累計) *1



*1 : 8/19以降はbot等による異常値を除いたグラフを掲載

*2 : ユニークユーザー (集計期間内のウェブサイト訪問ユーザー数。期間内の同一ユーザーの訪問は1UUとしてカウント)

*4 : ターゲットリーチ数 (友達登録者数 - ブロック数 - 属性不明者数)

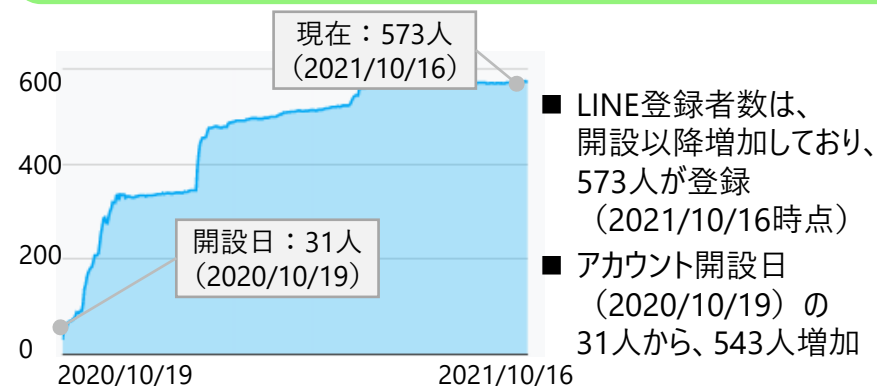
公式LINEアカウント

情報発信・活用状況



- LINEアカウントの利用再開 (6/22)
- 昨年度の効果検証アンケート結果 (6/24)
- 東京都デジタルサービス局noteでの取組掲載 (6/30)
- 自動運転移動サービスやスマートポール、5G等活用サービスに係る事業募集結果 (9/15)
- 西新宿スマートシティプロジェクトHP更新 (9/29)
- 5G等活用サービスに係る二次募集結果 (10/20)

友だち登録者数*4



*3 : bot異常値を除外して試算

7. 質疑応答・閉会の挨拶